

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

- スタッフ個別評価・・・・・・・・・・・ (ス-①～⑨)
事業所自己評価・・・・・・・・・・ (事-①～⑨)

◆外部評価

- 外部評価（地域かかわりシート①）・・・・ (地①-1～3)
外部評価（地域かかわりシート②）・・・・ (地②-1～6)

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月11日 (13:30~14:30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	亀井・南條・吉田・モー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	0人	0人	9人

前回の改善計画

利用者カンファレンスでは、スタッフは必ず、ひとつは意見を言うようにし、解決に向けて話し合いを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

事前に、対象のご利用者様の通達を行い、会議ではまず議長が、解決に向けての方向性を説明。その為、活発な意見が出やすくなつた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	7	0	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	8	0	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	1	2	9

できている点

利用開始直後など慣れていない時期の声掛け、気遣い等、意識して行っている。
家族様、職員の不安、疑問等、できるだけ解決できるように意識し声掛けを行っている。
引き続き、日中にあつた出来事を引継ぎノートに書き職員間で共有し、夜勤の職員にも引き継ぐようしている。
夜勤の職員も夜間中の出来事を経過記録以外で引継ぎノートに記載し日中の職員に引き継ぐよう行っている。
現在は、自分と主任、が中心となり、全体会議の場で意見交換できるよう取り組んでいる。
本人、家族のニーズについて利用前に、ケアマネからの情報を通じてスタッフ間で話し合い情報共有ができている。

できていない点

基本、ご家族様と会話をする機会が少ないので、伝え聞くか、資料でしか分からぬ。
不慣れなため、家族、介護者の不安を受け止め、関係作りのための配慮をする事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

「よくできている」「なんとかできている」が多い為、ここでは④が不慣れなスタッフに対して「話を聞く」「共感する」「感謝を伝える」など基本を教える。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月12日 (13:30~14:30)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	丹・南條・藤渕・吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	1人	0人	9人

前回の改善計画

日々の会話の中で聞き取りを行う。
聞き取った内容は、月に1回の利用者カンファレンスの際の題材にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

管理者、主任が中心となり聞き取りを行う事ができた。その中から対象利用者様を選び問題の解決にも取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	0	7	2	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	1	6	2	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	6	3	0	9
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	5	3	1	9

できている点

当面の目標「～したい」は情報シート、家族様のお話をもとに理解できている。
実現に向けて本人様、家族様との日々の関わり合いを大切にし、家族様を含めた多面的な視点からの情報収集ができるように取り組んでいる。
自分と主任が議長となり、参加者全員で意見交換できている。
議長として、意見を言ってもらえるよう会議の場で促している。
利用者様との会話の中で、昔の事や家庭での事を題材とした会話をを行い、かかわり方へのヒントとしている。
当面の目標については、日々のかかわりの中にヒントもあり、情報収集もできるため、理解する事ができている。
内容を振り返り、うまくいってない時は、対応の仕方を考えている。

できていない点

本人の目標（ゴール）については、あまり聞き取る事ができていない。
直近の目標については理解できているが、ゴールについては困難な事がある。

次回までの具体的な改善計画

利用者様が目標やゴールが設定しやすいよう、「利用者様ができない事を代わりにする」から「利用者様ができる事を増やす」取り組みを実践していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和7年10月14日 (13:30~14:30)
3. 日常生活の支援	メンバー 貝崎・吉田・藤田(周)・モー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	7人	1人	9人

前回の改善計画	「以前の暮らし方」の理解は平均5個程度はできている。今後は、聞き取りを活かし平均7個以上理解できるように取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	10個と言う目標からは、ハードルが下がったが、平均7個以上の理解でも、中々達成するのは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	7	2	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	3	4	2	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?	1	3	5	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	4	2	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか?	4	3	2	0	9

できている点	状況に合わせた基本的な介護はできている。 本人様との関わりを大切と考え、気持ちや体調の変化にも日々、気を配っており変化に対しての情報の共有もできている。 変化に対しての情報の共有もできていると思う。 全体会議において、利用者カンファレンス、勉強会を行い情報共有や改善策を出し合っている。 勉強会では毎月、課題を設けスキルアップに繋げている。
--------	--

できていない点	以前の暮らし方を把握する為に、目標を平均7個以上理解するよう取り組むとしたが、実際できたかと言うと、できているとは言えない。時間が無いという理由からできていない。 地域の方や家族様からの十分な情報収集が必要ではあるが、いざ介護が始まると介護に必要な情報だけで済ましてしまうこともある。認知症状が強い利用者様に対しても、根底にあるニーズを探る必要、努力が必要である。 本人の声にならない声を言語化する事は難しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	引き続き平均7個以上を達成できるよう取り組む。 *今後は「以前の暮らし方」とは何か、ケアマネよりレクチャーを受け理解に向け取り組む。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月16日 (13:30~14:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	亀井・吉田・藤田(周)・モー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	3人	1人	9人

前回の改善計画	引き続き、近隣から徐々に範囲を拡大する努力を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	努力は行っているが、「範囲を拡大する事ができた」と実感する事はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	3	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	6	3	0	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	2	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	6	2	9

できている点	情報だけでは分からぬ部分等は、家族様にお伺いしたり、事業所での生活が中心となっている利用者様には必要な情報の連絡を取り合い関係の継続に努めている。事業所が直接、接していない時間に本人がどのように過ごしているかは、家族や本人からの話もあり理解できている事が多くある。日常のコミュニケーションを通じて把握する事ができている。利用者様の気持ちや、体調の変化についてはスタッフ間で話す事もあり対応方法を変化させる等している。
--------	--

できていない点	事業所近隣の民生委員、資源の把握はできているが、依然、ご本人様、近隣の民生委員、地域資源の把握はできていない。利用者全員となると範囲が広くなり、全てを把握する事は困難である。地域によって、制度や支援内容が違い分かりにくい。ご家族様との関りがあまりなく、情報を得る事ができない。事業所、自分自身ができる、取り組み方や支援方法が分からぬ。通い中心の御家族様がいらっしゃる御家庭は御家族様に任せてしまっている所もある。人員、時間等に余裕があるなら取り組みも可能だが、余裕もなく、事業所が所在する安城寺地区、久枝地区との繋がりを最優している。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	ご本人様の暮らしに必要な地域資源の把握は難しい課題ではあるが、引き続き、安城寺地区、久枝地区との繋がりを大切にしながら、範囲の拡大、把握に取り組む。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月17日 (13:30~14:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	貝崎・藤渕・吉田・藤田(周)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	0人	9人

前回の改善計画	前回までは、地域との関わりを改善目標に掲げていたが、ここでの項目は本来、利用者様に対し行う支援の為、ニーズを把握し、ミーティングやカンファレンスで検討を行い柔軟な支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ケアマネ、看護師とも相談、連携を図りながら、ニーズや問題の解決に向け取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	3	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	0	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	5	0	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	4	5	0	0	9

できている点	利用方法も本人様、家族様のニーズにも柔軟に対応し提供出来ていると思う。 又、記録等も記入出来ており、その時々の柔軟な対応、支援が出来ている。 家族の状況、本人の体調等に会わせ、必要に応じて宿泊や訪問を追加している。
--------	---

できていない点	地域にある多機能的な(ボランティア等の)資源を使っての支援があまりできていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	事業所の中だけで支援を簡潔させず、利用者様のニーズに沿って、地域にある人・施設・制度などを把握、活用して利用者様の生活を支える。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月18日 (13:30~14:30)
6. 連携・協働	メンバー	貝崎・南條・藤田(周)・モー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	2人	1人	9人

前回の改善計画	3名程度の限定期的な職員だけが地域との関わりを持っているので、より関係性を深めるために5名程度の職員が関係性を持てるように取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者、主任が中心となり計画を行い、5名以上の職員が地域行事への参加を行い関係性を構築できたと思う。中には、参加できなかった職員や夜勤専門の職員もいる為、評価を低くしている者もいるが、事業所としては、今まで一番、地域への取り組みに参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	5	1	2	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	5	2	2	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	5	0	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	3	4	9

できている点	会議、連絡会、地域のイベントには可能な限り参加している。 また、運営推進会議も、地域代表の方が継続的に参加して頂いている。 今年も地方祭(保具地区)の神輿のかき手として参加させて頂いたり、安城寺地区や保具地区の行事には積極的に参加させて頂いた。お神輿では参加したことのないスタッフと一緒に参加したり地区のお花見会、納涼祭など今まで参加が少なかった女性スタッフをはじめ、外国人技能実習生、スタッフ家族も利用者様と参加し楽しく交流を持つことが出来た。 また、クリスマス会には吹奏楽部所属の高校生をボランティアとして招き、フルートとギターの演奏をして頂いた。
--------	---

できていない点	高齢者や子供たちの訪問。 家族さん、知人等が面会に来られる事はあるが、コロナ以降、交流のチャンスが減っている。 今年は、ケアクルー祭りを実施しなかった為、近隣の方が事業所へ来られる機会が少なかった。 事業所からのアプローチがない限り、高齢者施設と言う事もあり(感染症予防の観点から)来所を控える方もおられるのではないかと思う一方で、もっとオープンで近隣の方が気軽に立ち寄ってもらえるような施設にしたいと管理者として思う。 町内の用事等の事務的な訪問はあるものの、何の用もなく立ち寄る事ができる様な関係性が築けていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	会議、活動、イベント参加に「あまりできていない」「ほとんどできていない」にチェックを入れたスタッフを中心に参加できるよう計画をたて、地域との関わりを持ってもらう。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月19日 (13:30~14:30)
7. 運営	メンバー	丹・南條・藤渕・吉田・モー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	2人	1人	9人

前回の改善計画	運営推進会議に1名の地域の代表の方に参加して頂いているが、再度、民生委員の方をはじめ地域住民の方にお声掛けし参加をお願いする。また、その時は積極的なアプローチを行いご意見を頂く。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の代表の方には継続して参加して頂いている。 また、今年度は新たに1名、利用者ご家族様に参加して頂き、貴重なご意見を頂く事ができた。 今後も、お仕事のご都合が合えば参加して頂ける。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	4	5	0	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	3	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	3	4	0	9

できている点	運営推進会議を通して、直接意見を聞く事はある。運営に反映できるように努力している。 又、気が付いた事は意見として述べ、地域の方との情報交換を通じ、協同できる取り組みには参加するようにしている。 地域のイベントにも計画を立て、参加できている。 運営推進会議では、新たにご家族様代表として1名の方に参加して頂き貴重なご意見を頂けた。 今後もお事のご都合が合えば参加して頂ける。
--------	--

できていない点	地域の方からの意見や苦情を頂く事が無い為、「地域の方からの意見や苦情を運営に反映」する事ができていない。関係づくりが、まだまだ甘く、意見や苦情を聞ける所までできていないのだと思う。意見を頂ける様な関係性を目指したい。 また、「職員として意見を言う事ができているか」については、経験値の差がでていると思われる。経験が少ない職員からも貴重な意見は多いと思うので、上席の者が意見を吸い上げたい。 事業所として、地域との協働した取り組みはできていると思うが依然「個人的にはできていない」と答える職員も多い。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	意見を中々発言できないスタッフに対しては管理者、主任が中心となり聞き取りを行う。 また現在、主任が行っているエルダーメンターの中にも積極的に組み込んでいく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月20日 (13:30~14:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	亀井・南條・丹・藤渕・吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	0人	0人	9人

前回の改善計画	リスクマネジメントについて、再度、理解するために研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	リスクマネジメントについての研修をはじめ、多くの研修を計画し、実施できた。講師を招いての研修も年4回行う為、スキルアップも期待できる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	6	3	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	2	0	9
③	地域連絡会に参加していますか	2	3	2	2	9
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	5	3	0	9

できている点	職場内研修、外部研修、スキルアップ研修、地域連絡会等、できる限りスタッフで協力し、参加している。課題であったヒヤリハットの収集も出来ている。自分なりではあるが、将来発生する不利益(事故)の可能性(リスク)を予測・評価して、できるだけ事故のパターンを把握するように努めている。外部の研修はZOOMで参加したり、包括主催の研修に参加している。職場内研修も月に1~2回行っており、数カ月に1度は外部講師を招き研修を行い、スキルアップに努めている。
--------	--

できていない点	地域連絡会について参加自体は出来ているが、参加は一部の職員になってしまっている。リスクマネジメントへの取り組み。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	リスクマネジメントの研修を1回ではなく2~3回、年間計画に取り入れスタッフのスキルアップに繋げたい。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月21日 (13:30~14:30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	亀井・貝崎・藤渕・吉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	4人	0人	0人	9人

前回の改善計画	身体拘束や虐待とは何か、再度理解するために研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束と虐待で年間5回の研修を予定、実施している。また委員会も合わせると年間10回程度身体拘束と虐待について理解を深めるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4	5	0	0	9
②	虐待は行われていない	7	2	0	0	9
③	プライバシーが守られている	2	5	2	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	6	2	0	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	6	2	0	9

できている点	身体拘束、虐待は行われていない。 成年後見制度は理解している。 身体拘束、虐待の社内研修を数多く行った。
--------	--

できていない点	身体的虐待は行われていないが、スピーチロック(言葉による拘束)には気を付けなければならない。 (一般的に何気ない言葉が利用者様に対しては言葉の拘束にあたる) プライバシーや適正な個人情報の管理は、情報が外部の目の付く所にある事は少なくなったが、スタッフ間での会話の中(ホール等にいる時、話し合い以外の時)にも個人情報が入った会話がなされている時があるように思える。 成年後見制度については概ね理解はしているが、現状として介護事業所が御家族、ご親戚のそのような問題に対し介入し勧める事は中々できない状況である。 利用者様には、分かりやすくかつ丁寧に会話をしないといけないが自分自身に余裕がない時など、言葉に心がこもっていないと思う。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	身体拘束、虐待の研修は引き続き、数多く行い内容についても事例も含めた内容のものとする。 また、プライバシーの研修も全体研修の中に取り入れる。
---------------	---

事一⑨

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適當と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適當と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になつても、介護が必要となつても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願ひします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか? ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか? ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 感染症対策委員会などを通じて、日々の感染症対策、職員への周知徹底を行う。また、研修や訓練などで職員のスキルアップを行う。掃除に関しては分担表を活用し確実に行い、物の配置、動線には十分気を付ける。			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？			

C. 事業所と地域のかかわり (該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 地域行事には参加した事のない、少ない職員を中心に参加できる環境を作り今まで以上に 地域の方々との関係構築に努める。			
1	職員はあいさつできていますか?			
2	事業所は、地域の方に知られていますか?			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか?			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか?			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み (該当部分に✓を入れてください)

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 現在、体力的に地域での活動に参加できるご利用者様は限られるが、参加できそうな活動には安全を確保しながら積極的に参加していきたい。			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか?			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか?			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか?			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか?			

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 今後は、一人でも多くの方にお声掛けし、参加のお願いをする。 その時には、お困りごとなど事例検討が行える会議にしたい。			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか? 【前回の改善計画】 継続し、地域の防災訓練に参加したり、地域の方に事業所の訓練に参加して頂けるよう取り組む。BCP（事業継続計画）については、作成後の見直しを事業所に合った内容に作り替えていく。			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上参加が望ましい	6	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	4	1	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	4	1	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

ご意見なし

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

ご意見なし

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

色々な施設の運営推進会議にも参加して、サービス評価もしたことはあるが、自信を持って「できている」と答える事が謙遜の意味もあるのか少ない。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

もっと事業所に訪れる事ができれば、ちゃんと評価できるのだと思うがコロナ禍以降、インフルエンザも含め、気軽に訪れる事ができない為、評価をするのが難しいと感じた。

自己評価の取り組み内容について、質問の意味が分かりにくい所がありました。

【改善計画】※後日記入

外部評価の必要性、また外部評価とは何なのか、理解してもらうために、資料を作成した上で分かりやすく説明を行いたい。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていませんか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

ご意見なし

【前回の改善計画】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

ご意見なし

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

ご意見なし

【改善計画】※後日記入

利用者様の視点に立ち、室温、照明、座席配置を定期的に見直す。

ホールは落ち着いて過ごせるよう、清掃や整理を徹底する。

利用者様やご家族様のご意見を聞き、環境改善に反映する。

事業所内の音（テレビ音量、話し声）に注意する。

換気や消臭をこまめに行い、不快な臭いが残らないように配慮する。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

ご意見なし

【前回の改善計画】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

ご意見なし

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

事業所の方で、地域のお祭りに参加していて、知っている人は、知っているが、例えば地域で行われる運動会などに、事業所として参加してアピールするのも地域の人に事業所を知ってもらう良い機会になると思う。

【改善計画】※後日記入

出勤時、来訪者対応時、地域での接点において、明るく丁寧なあいさつを全職員で徹底する。

また、定期的に職員間で声掛けを行い意識付けを図る。

事業所の役割やサービス内容を広報物やブログを通じて地域に伝える。

地域の行事やイベントには可能な限り参加する。参加後は職員間で内容を共有し、地域理解を深める。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3	0	3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

ご意見なし

【前回の改善計画】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

ご意見なし

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

ご意見なし

【改善計画】※後日記入

利用者様の希望や体調に配慮しながらイベントや散歩など地域に出向く機会を増やす。

地域の行事やイベント情報を収集し、利用者様に分かりやすく伝える。

また参加される利用者様には、安全面に十分配慮する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	0	1
3	運営推進会議では、地域での取組みと一緒に取組もうとしていますか？	6	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

ご意見なし

【前回の改善計画】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

ご意見なし

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

運営推進会議も今回参加させてもらうのが2回目ですが、正直このような「サービス評価」がある事は知りませんでした。国が決めたことだからやらないといけないのだとは思いますが、書かれている内容も難しいこともあります、「地域拡大・地域に目を向ける」と言つてはいますが、遠い地域の関わりって、本当に意味があるんですか?と思います。自分たちが住んでいる地域でさえ大変なのに、ましてや利用者さんのお世話で大変なスタッフの人たちがそのような事にまで、目を向かないといけないと言う事は酷だと思います。

【改善計画】※後日記入

事業所の取り組み内容を、資料や写真を用いて分かりやすく説明する。

専門用語は避け、地域の方にも理解しやすい言葉で説明する。

個人情報に配慮した上で、地域で気になる事例について意見交換を行う。

地域行事や活動など、共同で取り組める内容を話し合う。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	2	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	4	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

ご意見なし

【前回の改善計画】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

ご意見なし

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

12月に安城寺地区で行われる文化祭において、避難訓練、ADLの講習会があるので参加してみてはどうか？

【改善計画】※後日記入

防災計画の周知徹底と職員研修を定期的に実施し、事業所内の防災訓練を計画、全員が参加できるようにも計画する。

また、地域防災訓練へ参画し、災害時の対応力と信頼性の向上を図る。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ケアクルー株式会社	代表者	藤田 裕司	法人・事業所の特徴	御利用者及び御家族の要望になるべく柔軟に対応している。困難なケースや訪問サービスも積極的に行っている。ただ過ごすのでは無く、体操やカジュアルリハビリを取り入れて活動的に過ごして頂いている。他の事業所を問題行動等の理由で利用を断られたケースでも先ず取り組むとする姿勢で対応している。				
事業所名	小規模多機能ホーム ケアリビングそれいゆ	管理者	亀井 寛之						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	2人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も利用者様ファーストの考えは継続し、利用者様に寄り添った介護を実践していく。また、日々のミニカンファレンスを通じて問題の解決に努める。	ご家族様、ご利用者様の立場に立った支援を行うことができ、職員間でのディスカッションも継続して行う事ができた。	色々な施設の運営推進会議にも参加して、サービス評価もしたことはあるが、自信を持って「できている」と答える事が謙遜の意味もあるのか少ない。 もっと事業所に訪れる事ができれば、ちゃんと評価できるのだと思うがコロナ禍以降、インフルエンザも含め、気軽に訪れる事ができない為、評価をするのが難しいと感じた。 自己評価の取り組み内容について、質問の意味が分かりにくい所がありました。	外部評価の必要性、また外部評価とは何なのか、理解してもらうために、資料を作成した上で分かりやすく説明を行いたい。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策委員会などを通じて、日々の感染症対策、職員への周知徹底を行う。また、研修や訓練などで職員のスキルアップを行う。掃除に関しては分担表を活用し確実に行い、物の配置、動線には十分気を付ける。	施設内環境においては感染症対策委員会を通じて感染症対策が行えた。研修や訓練も行えた。今後も感染症対策という点においては徹底して行いたい。掃除が行き届いていない所があり今後の課題としたい。	ご意見なし	利用者様の視点に立ち、室温、照明、座席配置を定期的に見直す。 ホールは落ち着いて過ごせるよう、清掃や整理を徹底する。 利用者様やご家族様のご意見を聞き、環境改善に反映する。 事業所内の音（テレビ音量、話し声）に注意する。 換気や消臭をこまめに行い、不快な臭いが残らないように配慮する。

C. 事業所と地域のかかわり	地域行事には参加した事のない、少ない職員を中心に参加できる環境を作り今まで以上に地域の方々との関係構築に努める。	地域行事には計画を立てながら積極的に参加する事ができた。地域の方とも積極的にコミュニケーションを図ることができ、情報交換を行う事ができた。今後は、情報発信の点において力を入れていきたい。	事業所の方で、地域のお祭りに参加していく、知っている人は、知っているが、例えば地域で行われる運動会などに、事業所として参加してアピールするのも地域の人に事業所を知ってもらう良い機会になると思う。	出勤時、来訪者対応時、地域での接点において、明るく丁寧なあいさつを全職員で徹底する。 また、定期的に職員間で声掛けを行い意識付けを図る。 事業所の役割やサービス内容を広報物やブログを通じて地域に伝える。 地域の行事やイベントには可能な限り参加する。参加後は職員間で内容を共有し、地域理解を深める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	現在、体力的に地域での活動に参加できるご利用者様は限られるが、参加できそうな活動には安全を確保しながら積極的に参加していきたい。	地域行事には積極的に参加でき、近隣の方との情報交換、コミュニケーションを図る事ができた。また、ご利用者様も参加できる行事には、と一緒に参加する事ができた。	ご意見なし	利用者様の希望や体調に配慮しながらイベントや散歩など地域に出向く機会を増やす。 地域の行事やイベント情報を収集し、利用者様に分かりやすく伝える。 また参加される利用者様には安全面に十分配慮する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後は前に参加して頂いていた民生委員の方にもお声掛けし、参加のお願いをする。その時には地域での困りごとなど事例検討が行える会議にしたい。	運営推進会議では、継続して地域代表の方、新たな利用者ご家族様も会議に参加して頂けた。後半の運営推進会議には、民生委員の方も参加して頂け、情報交換を行う事ができた。	運営推進会議も今回参加させてもらうのが2回目ですが、正直このような「サービス評価」がある事は知りませんでした。国が決めたことだからやらないといけないのだと私は思いますが、書かれている内容も難しいこともあります、「地域拡大・地域に目を向ける」と言ってはいますが、遠い地域の関わりって、本当に意味があるんですか?と思います。自分たちが住んでいる地域でさえ大変なのに、ましてや利用者さんのお世話で大変なスタッフの人たちがそのような事にまで、目を向けないといけないと言う事は酷だと思います。	事業所の取り組み内容を資料や写真を用いて分かりやすく説明する。 専門用語は避け、地域の方にも理解しやすい言葉で説明する。 個人情報に配慮した上で、地域で気になる事例について意見交換を行う。 地域行事や活動など、共同で取り組める内容を話し合う。
F. 事業所の防災・災害対策	継続し、地域の防災訓練に参加したり、地域の方に事業所の訓練に参加して頂けるよう取り組む。 BCP（事業継続計画）については、作成後の見直しを事業所に合った内容に作り替えていく。	地域の防災訓練には、参加したことのない、女性スタッフ二名が参加できた。事業所内の研修、訓練も継続して実施できた。BCPに関しては6月に事業所に合った事業継続計画を作り替えることができ、備蓄の管理、整頓は主任を中心となりできている。	12月に安城寺地区で行われる文化祭において、避難訓練、ADLの講習会があるので参加してみてはどうか?	防災計画の周知徹底と職員研修を定期的に実施し、事業所内の防災訓練を計画、全員が参加できるように計画する。 また、地域防災訓練へ参画し、災害時の対応力と信頼性の向上を図る。